５月の園だより

令和７年５月１日
目黒区立田道保育園園長

５歳児クラスが作った青色、黄色、青色の３匹のこいのぼりが気持ちよさそうに、園庭を泳いで子どもたちを見守っています。

新年度がスタートして一ヶ月が経ちました。入園、進級した子どもたちは新しい部屋や園の生活に少しずつ慣れてきました。入園してまもない頃、１歳児クラスの様子を見に行くと、新入園児の子どもたちは私の姿を見て大泣きする姿がありました。しかしクラスの保育士が「大丈夫だよ」と声をかけると保育士のもとへ行き、泣き止む姿が見られました。出会ってから数日しかたっていないのに自分の担当保育士だと認識し、寄り添っていく姿に子どもと保育士との絆が生まれていることがうれしく感じました。子どもの気持ちにしっかりと寄り添い、信頼関係を築いていけるよう保育をしていきたいと思います。

先日は全体保護者総会にご参加いただきありがとうございました。今月は各クラスの懇談会があります。子どもたちの進級した様子と、一年間クラスで大事にしていくことのお話をしたいと思います。是非ご参加ください。

今月の予定

こどもの日集会
（３・４・５歳児クラス）
環境教室
（３・４・５歳児クラス）
春の遠足（野毛山動物園）
（４・５歳児クラス）

懇談会について

２歳児クラス
０歳児クラス
３歳児クラス
１歳児クラス
４歳児クラス
５歳児クラス
１６：３０～１８：００ホールにて

各クラスの子どもたちの様子を紹介します

「　とっても頑張っています！　」　　５歳児クラス（くじら組）

くじら組での生活に慣れてきた子どもたち。毎朝９時になると「もう９時だよ。今日の当番誰だっけ」と朝の支度を始めます。人数報告当番が変えてくれたカレンダーの日付をよく見て「今日は４月の…」と登園カレンダーにスタンプを押して１日が始まっています。園庭では乳児クラスの子が泣いていると「大丈夫？」「あっちに先生いるよ、一緒に行こう」と手を引いてあげる姿や「一緒にやる？」と輪に入れてあげる姿もあり、優しいお兄さんお姉さんたちの姿も見られました。しかし、そんなかっこいいくじら組も時には疲れてしまうことも。「着替え手伝って」「先生も一緒がいい」そんな可愛らしい声もまだまだ聞こえてきます。年長児として張り切る姿を応援したり、見守りながら子どもたちと楽しく過ごせるよう保育士や友達と一緒にいろんなことに挑戦したり、遊んでいきたいと思います。

「　安心できる場所へ　」　　０歳児クラス（めだか組）

保育園生活に少しずつ慣れてきて、入室する時には保育士に向かって手を伸ばしたり、笑顔を見せてくれるようになりました。「いっぽんばしこちょこちょ」や「ちょちちょちあわわ」などを歌って触れ合って遊ぶと「あーあー」と声を出したり、気になる玩具に向かってずり這いやハイハイをして動ける場所も広がってきています。天気がいい日には園庭に出かけ、保育士が砂や花を見せて「触ってみる？」と声をかけると不思議そうに手を伸ばして感触を楽しんでいました。周りの子がどんなことをしているのかも気になるようで「〇〇ちゃんはタイヤで遊んでいるね」と保育士が言葉にすると、じっとその様子を見つめている姿もありました。保育士と一緒に過ごす中で、安心できる関係を築いていき、日々の遊びを楽しんでいきたいと思います。

「　おいしいね　」　　１歳児クラス（あひる組）

４月当初は新しい環境に緊張したり泣いてしまう姿も見られましたが、好きな遊びを見つけ保育士と一緒に楽しみながら少しずつ安心して笑顔を見せてくれるようになってきました。園庭では砂を型抜きしたものを崩してみたり、バケツに水と砂を入れて混ぜたりしています。泥水をチョコレートに見立て保育士が「チョコレートください」と言うとお皿に入れて“どうぞ”と渡してくれます。「おいしい」という言葉にはにっこり笑顔で答えてくれます。子どもたちとのやりとりを楽しみながら興味や関心のある遊びを十分楽しめるよう一緒に共感しながら楽しんでいきたいと思います。

「　おおかみ　がおー　」　　２歳児クラス（らっこ組）

らっこ組の部屋にも慣れ、新しい部屋のおもちゃに目を輝かせながら「これどうやって使うの？」と保育士に使い方を聞いたり「はい、おにぎりです」と食べたことがあるものを再現しながらご飯作りを楽しんでいます。園庭ではオオカミ役とこぶた役に保育士が分かれて３匹のこぶたごっこのやりとりを楽しんでいます。オオカミがこぶたの家を訪問し「ピンポーン」と鳴らし、やり取りが始まります。オオカミが「ふぅぅうぅ」と家を吹き飛ばすと子どもたちは逃げておいかけごっこを楽しんでいます。子どもたちのイメージや発想を大切に友達や保育士と一緒に楽しんでいきます。

「　どこかな　」　　３歳児クラス（ぺんぎん組）

園庭では虫探しがブームになっています。ある日、まだ何も植えていない畑の土を掘り返していると幼虫を発見。「みて」と目を輝かせていますが、手で触るのは少し怖いようでシャベルですくい容器に入れています。大事に持つと園庭で遊んでいる友達にも「幼虫いたよ」と嬉しそうに伝えています。その声を聞き、周りに友達が集まってきて、みんなで頭を突き合わせて幼虫の様子をのぞき込んで観察していました。動くと顔を見合わせて「動いたね」と喜び合っていました。そして次々と自分の幼虫を見つけようと幼虫探しが広がり、園庭に行く度に保育士や友達と一緒に幼虫探しやだんごむし探しを楽しんでいます。

「　いるか探検隊　」　　４歳児クラス（いるか組）

最近の子どもたちは「探検ごっこ」に夢中です。園庭や散歩で見つけたものを「これは誰の足跡だ？」「恐竜じゃない？」「怪しい穴がある」「ダンゴムシがいるかな？」「きっとアリの家だよ」とワクワクしながら観察しています。葉っぱを見つけると「これは宝の地図だ」と目を輝かせて進み、たどり着いた池では新しく入った友達も自然とやりとりに加わり、枝を手に「おたまじゃくしいないね」「カエルになってお出かけしちゃったのかな」と想像を膨らませながら楽しんでいます。友達と一緒に発見を共有しながら探検は続いています。